

いよいよ 2学期の締めくくり・・・

大切にしよう！！ 授業中の「仲間づくり」

1年の過ぎるのは早いもので、今年もいつの間にか12月一師走(しわす)の時期に入りました。2学期は体育大会、合唱コンクールと大きな行事が2つあり、人権点検デーをくぐって仲間とのつながりをしっかり深めようと各クラス・学年が力を尽くしてきました。

2学期をふりかえって、気になるのは学習での頑張り・・・。二中は仲間づくりを大切にしているけれど、**授業中の「なかまづくり」**がまだまだ出来ていないように思います。

な・・・仲良く
か・・・活発な
ま・・・学び合い

「学ぶ」ということをみなさんのそれぞれがどれくらいできたでしょうか？ **授業の中で、一生懸命考えて「わかった！！」という充実感を得るためにどれだけ努力しているでしょうか？わからなかったら、先生や班の友達に聞く。聞かれた人は、教えることで新たな気づきがあったり、自分の知識がより確かなものとなる。それが「学び合い」なのですが、残念ながら、授業に集中しないでとなりの人としやべってばかりいる人がいます。**

「学ぶ」ための基本の姿勢は自分自身の心がけでつくるもの・・・
「今日は、これを学習した！」という毎時間毎時間の気持ちの積み重ねが、大きな学び=学力につながっていきます。

1年生 校外学習の取り組みから

1学期に「地域新聞づくり」に取り組み、自分たちの住んでいる地域の歴史やわが町自慢、店舗や事業所について取材し、自分たちの住んでいる地域が今まで以上に好きになりました。2学期はエリアを広げ、大阪市内へ電車で行き、班別行動で「大阪」についてフィールドワークを実施しました。「自分たちが住む大阪のことをもっと知り、好きになろう」という取り組みを行いました。自動車で移動することの多い昨今、切符を持って駅の改札をどう通るかわからない子どもたちもいて、生きた社会体験の機会になったと思います。



考えてみよう！！

共に生きる社会

「みんなが安心して暮らせる社会」をつくるために

11月26日の全校集会で、「二中校区のスーパーマーケットで、常備してある車椅子が中学生らしき子どもたちにより回され、しかも障がい者の真似をして遊ぶという悪質な悪戯(いたづら)が起こっている」ということを伝えました。「車椅子で毎日通学している二中学生もいて、日常的に玄関や廊下に車椅子を置いてあっても、決して乗り回したり、悪戯をしたりしない二中学生の状況に誇りを感じていただけに、『もしも、二中の子が・・・』と思うとともにショッキングな思いである」ことも伝えました。集会後、3年生の男子が「校長先生、あれは二中の子がやったのと違うで。ぼくも見ただけど、ちょっとひどいと思った。」と話してくれました。予想通り、二中学生ではないと聞いてほっとし、また、普段と違って、真剣な表情で報告してくれる3年生の様子を非常に嬉しく感じました。

でも、この機会に二中学生もしっかり考えて下さいね！

(集会でも伝えましたが・・・)

「障がいがあっても、安心して暮らせる町づくり」は「みんなが安心して暮らせる社会づくり」につながるのです

・町のバリアフリー施設やユニバーサルデザインの施設をこわしていないか？(みんなが気持ち良く使うために)

そして、何よりも

・障がい者を傷つける発言や行為をしていないか？
(障がいのある人や、そのご家族の悲しく、つらい思いがわかりますか？)

感動！！

「熱い心」で取り組んだ 合唱コンクール



11月8日(木) 本校誠心館で、今年も恒例の校内合唱コンクールが開催されました。今年は、例年以上にクラスのドラマを感じさせてくれる熱い合唱が多かったように思います。

さすが3年生！1年生より頑張ってきたその歌声は圧巻でした。1・2年生も今年はひととき優劣つけがたい熱戦となり、来年の合唱コンクールが楽しみです。最優秀賞の3年5組が市の連合音楽会に出場しました。

今年も、お忙しい中、多数の保護者・地域のみなさんにご来校いただき、頑張る二中学生の歌声をお聴きいただいたことに心から感謝いたします。有難うございました。

